

第2学年 音楽科 年間学習計画

学習目標

歌唱や演奏を通して、表現することや音楽を楽しむことができる。

学期	単元・題材	学習内容	学習のポイント
前期	歌う喜び ・夢の世界を 編曲による音楽の楽しみ ・ラヴァースコンチェルト ・メヌエット	「夢の世界を」の混声三部合唱を楽しむ。 「ラヴァースコンチェルト」を二部合唱する。 「ラヴァースコンチェルト」をアルトリコーダーで二部合奏する。 「メヌエット」を鑑賞する。	新しいクラスでのびのびと歌声を響かせることができる。 強弱を工夫し、三部合唱の響きを楽しむことができる。 原曲と比較しながら楽しんで歌ったり演奏したりすることができる。 原曲を味わうことができる。 1-1・1-5
	日本の歌曲を味わう ・夏の思い出 ・小フーガ短調 日本の歌曲を味わう ・浜辺の歌 ・荒城の月	歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。 パイプオルガンの響きを鑑賞する。 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。	伴奏と一体となった効果を味わうことができる。 パイプオルガンの響きと多声音楽の特徴を味わうことができる。 日本語の響き、美しさを感じとりながら歌うことができる。 4-9
	速度や強弱による曲想の変化 ・カリнка ・サンタルチア いろいろな発声法を知ろう ア カペラの合唱 ・スカボローフェア ・kum ba yah	速さや強さの変化による曲想の変化を感じ取って表現したり鑑賞したりする。 「Kum ba yah」をパート練習を経て、ア カペラで合唱する。	速度や強弱によって曲想が変化することを感じ取り、楽しんで歌うことができる。 声だけによるハーモニーの美しさを感じる事ができる。 3-2
後期	日本の民謡 ・「島原の子守唄」「安来節」 世界の民族音楽 ・「オルティンドウ」「カッツリー」 ・「ヨーデル」「ヒメネ」	日本各地の民謡に親しみ、特徴を感じ取る。 曲種の違う音楽の例(日本の音楽、世界の民族音楽)を比較聴取し、発声の違いに気づく。	民謡の独特な味わいに親しむことができる。 歌声の特徴を味わうことができる。 4-10
	オーケストラの響き ・交響曲第5番 ・交響曲と協奏曲	オーケストラの曲や暮らしの中の様々な音楽を聴き、豊かな響きや楽曲構成の特徴を感じ取る。	ベートーベンやソナタ形式について知ることができる。 管弦楽の豊かな響きを味わうことができる。 2-3
	文楽 歌舞伎	日本の伝統的な人形劇の特徴を感じ取る。 日本の伝統的な演劇の一つである歌舞伎の特徴を知る。	日本の伝統的な人形劇に関心を持つことができる。 太夫・三味線・人形の3つの役割を理解できる。 音楽・舞踊・演技が一体となって成り立っている歌舞伎に親しむことができる。 4-4
	合唱の喜び ・巻末合唱曲より ・卒業式の歌	いろいろな曲に挑戦する。	合唱の響きを味わうことができる。 4-4

評価の観点・評価方法

- ①音楽に関心を持ち、意欲的に活動している。(定期テスト、実技テスト、授業道具、授業態度)
- ②音楽を感じ、表現を工夫して演奏している。(実技テスト、活動状況)
- ③音楽的に表現している。(実技テスト、活動状況)
- ④音楽をしっかりと聴いている。(定期テスト、活動状況)